

令和5年度 第1回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和5年5月26日(金) 10時～11時30分

■ 開催場所 平塚市博物館 科学教室

■ 会議出席者(敬称略)

会長 植田 育男

副会長 藤吉 敬子

委員 昆 政明、小倉 俊宏、新井志生実(欠席委員:今野 博)

事務局 平井社会教育部長、浜野館長、坂田館長代理(管理担当長)、川端館長代理(学芸担当長)、近藤館長代理(市史編さん担当長)

■ 傍聴者 0名

■ 会議の概要

1 開 会 平井社会教育部長挨拶
異動者紹介

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・ 令和4年度春期特別展について
- ・ 博物館こどもフェスタについて
- ・ 情報発信(ホームページとYouTube・SNS)について
- ・ デジタル展示ガイド「ひらはく展示+」について
- ・ 「平塚市史13下」別編寺社(2)の刊行について

(2) 今後の事業計画等について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

■ 議事および質疑

議題(1) 報告事項等について

◆令和4年度春期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 主な対象を小学校高学年から中学生としているとあったが、展示でのふりがなはどのように対応したのか。

事務局 小学校5年生以下にわかるよう、ふりがなを使うようにした。

委 員 展示も素晴らしかったが、図録も素晴らしかった。地域に特化した教科書としても使えるような内容で、中学校や高校の先生にも読んでいただくと、すごく良い教材になるのではないかと感じた。何の分野でもそうだが自分の住んでいる地域のことを知るテキストが欲しいと思って

いた。平塚市博物館のコンセプトにもマッチした図録と展示であったと思う。タイトルもよかった。

委員 ポスターもインパクトのあるデザインで、見てみようと思った人もいたのではないかと思う。近年の特別展示のポスターや展示のデザインは、以前と比べ変わってきたように感じる。今年度の特別展にも期待している。

委員 現役時代に平塚市博物館と同様の総合博物館に勤務していた経験では、地質分野の特別展は観覧者が少なくなるように感じていた。こちらでは他の分野に勝るとも劣らない、大変多くのお客様が見に来ている。これは、展示の内容もさることながら、これまでの積み重ねがあればこそで、そこから興味関心を持った人たちが育っていることの証左でもあろうかと感じた。

委員 小中生にチラシを配布したとのことだが、各学校にどのように配布したのか。

事務局 各学校には事前に案内を行い、教育委員会事務局からの逡送便を利用して児童生徒さんに配布した。

委員長 学校の先生への案内や解説などは行わなかったのか。

事務局 配布時期が年度末で、また小中学校合わせると 50 校にもなるため、先生へのアプローチは行っていない。

委員長 会期は新学期にもまたがっていたので、そういったアプローチがあってもよかったのでは。ターゲット層の観覧者がさらに増えたのではないかと思う。「難しい」「やや難しい」と答えたアンケートが私は多いように感じた。低学年の観覧者の反応と思えるが、どう考えているか。

事務局 前回の特別展と比べると、今回の難解度はやや下回っているが、自由記述を見るとわかりやすいという評価も多いと感じている。企画の趣旨にもあるが、地球科学は、古生物、地質、岩石、鉱物など分野が多岐にわたるため、そういった部分の評価があるかもしれない。

委員長 内容は網羅的で非常に良い展示であったと思う。

館長 理系の分野にあまり親しんできていない人たちには、元素記号が出てきたり、専門用語があまり耳慣れないなど、中学生レベルの優しい解説を心掛けたが、個人的には大人にもわかりやすいレベルになったと感じた。2年前の「神奈川の大地」展では、私も難易度が高いなと感じ、展示の評価や図録の売り上げでも非常に好評だったが、アンケートでの難易度の評価は「普通」が 15%、「やや難しい」が 16.5%、「とても難しい」が 3.5%で、今回よりも難しいと評価した人がかなり多かった。比べて今回の展示では、解説文を短くしたり、担当者がかなり工夫して伝わりやすい展示を作ろうとしていた。ただどうしても理系分野に親しむ機会の少ない方などには、難しいと評価されてしまう部分があるのは仕方ない。

◆博物館こどもフェスタの開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 博物館クイズの内容は。

事務局 博物館 1 階の常設展示の展示物についてのクイズで、古民家の「カマド」は何に使ったものか、

地形模型の中から「川の名前を3つ教えてください」「山の名前を3つ教えてください」などがあった。

委員 それは、知識を問うのではなく、モノをじっくり見れば年少者でも答えがわかるというものか。

事務局 そういった観点で設問した。

委員 何問くらい用意したのか。

事務局 幼稚園・小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年・中学生向けの3種類を用意し、それぞれを5問の設問とした。

委員 クイズの場所には展示解説ボランティアなどが配置されていたのか。

事務局 受付と個々の場所に展示解説ボランティアがついてヒントを出したり質問を受けたりしていた。

委員 クイズの内容も展示解説ボランティアが考えたのか。

事務局 展示解説ボランティアが案を作成した。内容の確認は担当学芸員も行った。

委員 私の勤務先でもボランティアとイベントの役割分担をするが、バランスが難しいことがある。

事務局 このクイズに関しては、景品の選定を含めほぼ展示解説ボランティアが主導した。

委員 火起し体験は人気がある。最近の子供たちは火をつけるという体験は少なく、裸火を見ること、ましてや火を起こすということは貴重な体験だと思う。私の経験では、火起し体験はあまり人が集まらなかったがどういった方法で火を起こしたのか。

事務局 ^{まいざり}舞錐式の火起こし器を使った。考古のワーキンググループの古代生活実験室が実験考古学の取り組みとして、自作、改良している舞錐を使用した。

委員 舞錐のほかに火打石やマッチ、ライターをそれぞれ使って火おこしをしたことがある。

事務局 火種を作ってから炎にするにはコツが必要で、炎が急に燃え上がるので、大人でも前髪を燃やしてしまう人がいる。

委員 炎が燃え上がると歓声上がるのでは。

委員 今の子供たちはマッチが擦れない。アルコールランプに火をつけるときでも、チャッカマンでつける。マッチを使う機会がなくなり擦れなくなったため、チャッカマンで火をつけるにもおっかなびっくりになっている。こういう体験はとても貴重。井戸で水を汲むという行為も今では貴重な体験となっている。博物館には井戸はないだろうが、体験する場としての博物館の存在は貴重で続けていってほしい。

委員長 火起し体験で思ったのだが、火をつけたその先の行動、例えば明かりに使ったとか、狩りに使ったりとか暖をとったりなど、昔の人たちがその目をどう使ったかななどを見せたり、解説したりするとさらに良い企画になるのではないかと感じた。また参加者の年齢分布で小学校6年生からガタッと少なくなるのは残念に感じる。

事務局 その点は、展示においても課題と認識はしている。

委員長 先の特別展の企画でも、こういうことを念頭に置き意識していたと感じた。大きなテーマ、課

題だと思う。

委員 中学生は、部活や勉強など忙しくなる時期でもあり、そういった点も影響しているのであろう。

委員 こどもフェスタというネーミングで「こども」が全てひらがなで構成されていることで、中学1年生の私の娘は「小学生向け」と感じたようで、行きにくいと話していた。中学生を意識したネーミングなど、アピールがあってもよいのかなと感じた。内容的にはそんなことはないので、ちょっと工夫して考えてみては、と思った。

委員長 大きな課題だと思う。

◆ホームページ・YouTube・SNSについて事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 博物館のTwitter を利用させてもらっているが、タイムラインがどんどん流れてしまい、情報に気がつきにくい。リツイートもそれほど多くないようなので、インスタグラムやフェイスブックなどの利用も考えてみてはどうか。

事務局 同じ情報を多媒体に流すことに対して躊躇している部分はある。

委員 平塚市の公式 LINE だと、博物館の情報その他、市役所各課の情報もあり、読み切れないこともある。インスタグラムやフェイスブックでは、情報量を変えるなどすると差別化できるのではと思う。学芸員さんの仕事が増えてしまうことになるが提案としたい。

委員長 ホームページ、ユーチューブなど確実に増えている状況は素晴らしい。これがいつまで続くのか、どこかで頭打ちになってくることになるのだろうが、その時の対応は考えなくてはいけないだろう。

◆デジタル展示ガイド「ひらはく展示+」について事務局川端学芸担当長が概要を説明、藤井学芸員がデモンストレーションを実施。

委員 ユーチューブの「5分でわかる平塚学入門」のQRコードへのアクセスもできるのか。また「ひらはく展示+」内からも動画へアクセスできるのか。

事務局 「ひらはく展示+」の利用と同様に利用できる。「ひらはく展示+」内から直接動画へ飛びリンクは、まだ設定していないが、今後動画の数なども増やしてゆく予定であるので、使いやすい方法を検討している。

委員 このシステムの導入によって展示解説ボランティアがいらなくなる様なことはないのか。

事務局 展示解説ボランティアの解説にも活用してもらうことで、展示解説の幅が広がり利用者への理解の助けになるものと考えている。

◆「平塚市史13下」別編寺社(2)の刊行について事務局近藤市史編さん担当長が説明資料により説明。

委員 市史の発刊はこれが最後か。

事務局 この後、「年表編」の発刊を計画している。

委員 それはいつごろか

事務局 令和6年度の発刊の予定で準備を進めている。

議題（2）今後の事業計画等について

◆今後の事業計画等について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員長 館長の講座は何回くらい予定されているのか

館長 年度内に4回を予定している。

委員 「宇宙飛行士選抜試験」が面白そう。対象年齢は。

事務局 高校生以下を対象として募集する。

委員長 内容は、先日ニュースにあった宇宙飛行士の選抜のものと一緒に。

事務局 JAXA で実際に宇宙飛行の選抜の際に行われる試験内容を取り入れている。実際に行っているものでは、白一色のジグソーパズルを組み立てる試験や離れた相手に音声のみで意思疎通する試験などを行っている。

議題（3）その他

◆事務連絡等

次回の協議会は令和5年11月22日（水）に開催することとした。

配 布 資 料

令和5年度 第1回平塚市博物館協議会 次第

令和5年5月26日（金）午前10時
平塚市博物館科学教室

1 開会

2 議事

- (1) 報告事項等について
 - ・ 令和4年度春期特別展について
 - ・ 博物館こどもフェスタについて
 - ・ 情報発信（ホームページと **Mi H VY・GBG**）について
 - ・ デジタル展示ガイド「ひらはく展示+」について
 - ・ 「平塚市史13下」別編寺社（2）の刊行について
- (2) 今後の事業計画等について
- (3) その他
 - ・ 事務連絡等

3 閉会

以 上

(&\$&&

会 期 2023(令和5)年3月18日(土)～5月14日(日) (開催期間:50日)
休館日:月曜日

主 旨 地学は理科で学ぶ化学、物理学、生物学といったすべての分野が関わる総合的な分野であるために難しい印象を持たれがちである。しかし地域の成り立ちや、私たちの暮らしとも密接にかかわる分野でもあることから、地学について理解することは、私たちの未来について考える上で極めて重要といえる。本展示では、そんな地質学の基礎的な内容(小学校高学年～中学レベル)を、身近な湘南地域で実際にみられる地層、石、地形に焦点を当てながら紹介した。

展 示 構 成 1章 地学ってなに? / 2章 地球と石 / 3章 地層と化石が教えてくれること / 4章 大地の形 / 5章 湘南の大地はこうしてできた / 6章 身近な地学

入 館 者

	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
	大人	子ども	合計			
3月	1,230	422	1,652	12	25.5%	138
4月	3,147	1,468	4,615	26	31.8%	178
5月	1,536	662	2,198	12	30.1%	183
期間計	5,913	2,552	8,465	50	30.1%	169

(参 考)

R4 秋	5,846	2,208	8,054	55	27.4%	146
R4 夏	7,417	3,282	10,699	40	30.7%	267
R3 春	5,346	1,775	7,121	44	24.9%	162
R3 秋	6,906	2,877	9,783	64	29.4%	153
R3 夏	5,724	2,396	8,120	45	29.5%	180

関 連 行 事

特別展示解説

開催日:①3月29日(水) 参加:大人13名、子ども0名(応募14名)

②4月8日(土) 参加:大人14名、子ども1名(応募15名)

③5月4日(木祝) 参加:大人14名、子ども0名(応募14名)

体験学習「化石レプリカをつくろう」

開催日:①4月2日(日) 午前・参加:大人8名、子ども11名

午後・参加:大人5名、子ども7名 合計 31名
(応募 午前21名、午後16名)

②5月14日(日) 午前・参加:大人7名、子ども10名

午後・参加:大人6名、子ども5名 合計 28名
(応募 午前:大人35名、午後16名)

野外観察会「親子で行こう湘南ジオツアー」

開催日:①4月22日(土)「平塚の地層と地形を見に行こう」

参加:大人9名、子ども5名(応募17名)

開催日:②5月6日(土)「大磯の地層と化石を見に行こう」

参加:大人11名、子ども10名(応募54名)

印刷物

図録「ゼロからの湘南地学入門」

B5判 128頁 カラー 1,500部 頒布価格 ¥500

開催期間内頒布部数:308部

(参考)R3秋:571部、R3春202部、R4夏:292部、R4秋:190部

ポスター B3判 カラー 300部

B2判 カラー 100部

リーフレット A4判 カラー 15,000部

アンケートの結果

回収枚数 116枚

回答者の住所 平塚市内43名、平塚市外神奈川県内62名、神奈川県外7名、関東以外1名、海外(n=113) 0名

回答者性別 男67名、女47名
(n=114)

回答者年齢 (n=112)	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	24名	7名	8名	23名	17名	20名	13名

情報の入手先 広報ひらつか 18名、博物館のホームページ 17名、あなたと博物館 5名、
(複数回答可) SNS 7名、新聞等 3名、ポスター 26名、口コミ 3名、その他 40名
(n=119)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=115)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	73名	33名	7名	1名	1名
	63.5%	28.7%	6.1%	0.9%	0.9%

難しさ (n=114)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	41名	49名	14名	7名	3名
	36.0%	43.0%	12.3%	6.1%	2.6%

総合評価 (n=113)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	70名	33名	6名	3名	1名
	61.9%	29.2%	5.3%	2.7%	0.9%

ご意見・ご感想（一部抜粋）

- ・楽しかったです！！びっくりです。活断層が分かってよかったです。
- ・小・中・高・大学生向けに書籍の知識を加えて是非見学を勧めたい。大人向けでも判り易く、ありがたい。いい企画、展示、説明ですね。
- ・やさしい言葉で説明されていて分り易かった。
- ・トンカチで石をたたけてうれしかったです。
- ・こどもむけにひらがなをもっとふってほしい。なじみのある内容だとありがたい。
- ・ボランティアの方が解説して下さると展示もとてもわかりやすく、来たかがありました。
- ・3種の動物キャラクターによるコメントが、理解を助けてくれました。秀逸なアイデアだと思います。
- ・何度も化石がでてきたり、伝え方がよくわからない。難しいテーマなので漠然としていて、つかみどころがなかった。こちらの知識不足ですか。
- ・さわれるものやたのしめるものがあったなーと思いました。
- ・昨年秋より地学への関心が生まれた。なので今回の展示はとてもたのしみだった。図録もすばらしいテキストになる。大感謝。
- ・石が好きでポスターを見て立ち寄りました。展示物がたくさんあり見ごたえがありました。地学についてまったくの無知でしたので、もっと知っていこうと思います。アンモナイトさわられてうれしかったです！ありがとうございました。
- ・小学生です。難しすぎました。
- ・基本的でわかりやすかった。湘南の地質の由来が理解できてよかった。
- ・鉱物や化石の種類が豊富で見えて面白かった。特にアンモナイトのさわれる化石は素晴しかった。
- ・あらためて湘南地域は複雑で非常に新しいホットな場所なのだと感じました。地震が怖い。
- ・（少人数の方々としては力作でした？）まず”湘南”って？どこからどこではなく、何を言いたい言葉？地名として多いに意味ありでは？それに地名との関連は？プレートテクトニクス自体が何回な点が多い！
- ・子供の頃に来ていたら進学先がちがったかも。じかんだりないので、また来ます。
- ・昔やった理科／科学等の復習のような感覚で見えていました。図や本物が多くて分かりやすかったです。
- ・今まで疑問に思っていたことで、明らかになったことがいくつもあった。昔学んだことの復習になった。
- ・非常におもしろいが、内容がやや断片的
- ・日常では見ることがない珍しい石などが見られてとても驚き、新しい発見がありました。
- ・若い方が作られたのでしょうか。親しみやすい表現とわかりやすい図説で楽しく学べました。地層の形成はアニメーションで説明していただけると助かります。
- ・手で触って体験できるものがあり、興味を持つことができました。
- ・平塚の地形 etc の成り立ちがよく分かりました。ありがとうございました。
- ・興味はあるけれどどこからてをつけたらいいかわからない「地学」に「湘南」からアプローチするという手法はとても良いと思います。
- ・これまでになく引き込まれた展示でした。（さまざまな刺激を受ける工夫がたくさんあって楽しかったです）図録も展示も100%の教材と感じました。
- ・図書館に来た際、特別展がやっているとのぼりを見て来ました。地学の展示は初めて見ましたがわかりやすくおもしろかったです。

- ・何時も広報紙を見ては行ってみようと思っているがなかなか足が向かない……。展示はとても素晴らしく、もっと自分の知識を豊かにして見たらと思ってしまいます。でも見るのは好です。自分の住んでいる場所だから。
- ・有難うございました。興味持って閲覧できました。また4月18日ボランティアの方に館全体の御説明を受け感謝しております。有難うございました。
- ・高校の地理総合の教科を教えるにあたって身近な地域を題材にやさしく解説しているのでとても参考になりました。
- ・忘れていたことやごちゃごちゃになっていたことが、ひもとかれたようです。知識は定着していませんが、全体のイメージができそうです。
- ・「地球の歴史」を読んでいる（現在（下）の大方済み）ので、内容が一致したためかとても良かった。
- ・地学の本を買っても、実物を見ることができず、実感が湧かなかったもので、本物の展示、しかも近辺で採集したものが見られてよかった。また、湘南地域の土地の成り立ちも少し理解できた気がした。
- ・地学の入り口から、平塚を中心とした地学的なことがとても詳しく展示して下さっていたので、めちゃくちゃ楽しめました！身近なところから学べる地学っていうアイデアがとにかくすごいと思いました。アンモナイトに触れたのもうれしかったです。理科の授業のことを少し思い出しました。
- ・立って見学して疲れた。発行された本を買って帰り、ゆっくり読みます。
- ・2度目で、前回展示の資料（図録）も購入しました。改めて見ても、とてもわくわくする展示でした。図録もとてもわかりやすく、地学に縁がなかった私でも、興味をもって拝見することができました。特に湘南地域に住んでいるんなら、ほとんどの地層も「会いに行ける地層」なので、地学をより一層身近に感じることができました。また、読み物図録は楽しいものだったので今回2冊目を購入するし、何なら執筆者のサインを頂きたいです。サイン本下さい。
- ・50年以上湘南地域に住んでいても、初めて知ったことがたくさんあって感動した。地学は子供の頃から興味があった。
- ・平塚にビーチコーミングに来て、帰りに通過がった博物館にてこの様な密度の濃い展示を無料で拝見させて頂き心より感動し、感謝しております。ビーチコーミングにて触れた岩石の由来や、地球の歴史の奥深さを改めて感じ、知る事が出来、また様々な鉱物の展示も目を引きました。巨大アンモナイトに触れた事、ハンマーで叩いた岩盤の固さ、忘れません。貴重な体験をさせて頂き有難うございました！
- ・乳児をつれての参加だったので手が触れられるコーナーがあったのはとても良かった。
- ・かわいい
- ・中学で学んだ内容の復習がてら、楽しませていただきました。現在通っている高校では地学の授業がないので、こういった機会に勉強でき良かったです。
- ・アンモナイトをさわってすごいつるつるだとおもった、またこんどきてさわりたい
- ・とてもすごいものがあつたり、さわれたりするものがあつたのでとても良いと思いました。
- ・解説文をQRコードで読み取って帰宅後も改めて学べる様にさせていただけますとありがたいです。
- ・地質学に興味があり、海岸で拾った石や露頭の写真などから自分なりに見当をつけて楽しんだりしているのですが、系統だった展示を見てとても勉強になりました。石拾いや露頭観察がますますたのしくなりそうです。
- ・これからがんばってください。毎回とても楽しみにしています！（好きなものとそうでないのがありますが）夏の回が（毎年）とても好きです。
- ・石がきれいだった

博物館こどもフェスタ 2023 開催結果報告

開催日：令和5年4月29日（土・祝）、30（日）

三密を避けるため、イベントを2日に分け、密集しやすいイベントは申込制で実施した。申込人数はおおよそ募集人数通りで、一部募集人数を超えたものはグループを二つに分けて行うといった対応をとることで、参加希望者には全員参加してもらうことができた。

アンケートは参加した感想を尋ねる子どもを対象としたものと、申込方法を尋ねる大人を対象としたものの2種類を用意した。子ども対象のアンケートからは今回のイベントが楽しく、難易度的にもちょうどよいと感じる子どもが多いことがわかった。大人対象のアンケートからは、ひと手間かかると考えられる事前申し込み制による実施が、予定を確実にするもので行動しやすく好ましい、という意見が多く得られた。一方、当日来館してからイベントの存在を知った方からは、当日参加できるイベントがあってよかった、という意見が寄せられた。

イベントと参加者数（29日）

イベント名	開催時間	参加方法	定員	会場	参加者(小人)	参加者(大人)	総計
火起こし体験	10:00～12:00 (受付 11:30 まで) 13:30～15:30 (受付 15:00 まで)	事前 申込	各回 40 名	屋外展示 場 講堂	72	70	142
ぶたいうら たんけんツアー	9:30～10:20 13:00～13:50	事前 申込	各回 20 名(各 4 組 1 組 5 名 まで)	館内	23	25	48
はくぶつかんクイズ「探 してみよう これなーんだ」	10:00～14:30	当日 申込		展示室内	73	—	73
プラネタリウム こどもフェスタ スペシャル	11:00～11:40 13:30～14:20 15:00～15:40	当日 整理 券	各回 70 名	プラネタリウム	73	104	177

イベントと参加者数（30日）

イベント名	開催時間	参加方法	定員	会場	参加者(小人)	参加者(大人)	総計
昔のこども遊び	10:00～12:00 (受付 11:30 まで)	事前 申込	各回 40 名	講堂	21	34	55
ナウマンゾウ ペーパークラフトづくり	13:30～15:30 (受付 15:00 まで)	事前 申込	各回 40 名	講堂	26	22	48
ぶたいうら たんけんツアー	9:30～10:20 13:00～13:50	事前 申込	各回 20 名(各 4 組 1 組 5 名 まで)	館内	7	8	15
はくぶつかんクイズ「探 してみよう これなーんだ」	10:00～14:30	当日 申込		展示室内	46	—	46

プラネタリウム こどもフェスタ スペシャル	11:00～11:40 13:30～14:20 15:00～15:40	当日 整理 券	各回 70 名	プラネタリウム	64	77	141
ろばたばなし	15:15～15:45	当日 整理 券	定員 20 名(席 数・整理券あ り)・立ち見 自由	民家	7	8	15

申込者の年齢分布（実数）

全体	年少	年中	年長	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
人数	1	6	8	7	13	17	18	10	4	1	2	1

※市内 88、市外 2

博物館こどもフェスタ 2023 アンケート

【子ども】（回答数 27）

学年別回答数

学年・年齢	人数	
3才		
4才		
5才	1	
小学校	1年	2
	2年	5
	3年	8
	4年	5
	5年	5
	6年	1
中学校	1年	
	2年	
	3年	
合計	27	

楽しかったイベント

イベント	人数
火起こし体験	10
昔のこども遊び	8
ナウマンゾウペーパークラフトづくり	9
ぶたいうらたんけんツアー	9
はくぶつかんクイズ 「探してみよう これなーんだ」	11
プラネタリウム こどもフェスタスペシャル	13
ろばたばなし	2

内容の難しさ

	人数
かんたん	0
ちょうどいい	20
むずかしい	1

※選択肢にないが「ややむずかしい」1名

今後体験してみたいこと（自由記述）

学年	自由意見
小1	ひおこし
小2	火おこし、ぶたいうらたんけんツアー
小2	またぶたいうらたんけんをやりたい。歴史をべんきょうしたい。
小2	てんたいかんそく、しょくぶつかんさつ（いろんなところで）
小3	じっけん
小3	むかしあそびのめんこなど
小4	昔のやりでやりなげ
小4	またぶたいうらたんけんをやりたい。化石をさがしたりはくつしたりしたい。理科のじっけんをやりたい。
小4	ひおこし、せんそうのとき平塚はどうだったのか？もう一度ペーパークラフト。
小5	ぼうえんきょうづくり
小5	ぼうえんきょうづくり、かせきはくつ
小5	おりひめとひこぼしについて聞きたい。
小5	クイズがたのしい
年長	はくぶつかんクイズ

【大人】（回答数 18）

何で知ったか

	人数
広報ひらつか	11
博物館 HP	5
あなたと博物館	1
口コミ（友人から）	1

参加のきっかけ（複数回答あり）

	人数
子どもが参加したいと言った	9
大人が参加させたいと思った	7
その他（大人が参加したいと思った）	2
その他（お友達と参加したい）	1
その他（雨が降って時間があつたため）	1

参加しやすい方法

	人数
事前申込	17
当日整理券	1

その理由（自由記述）

予定がたてやすいので、当日整理券だと、もうなくなったらムダ足になってしまうこともあるかもしれないので
人数が決められているので、行って待たなくて良いので
当日だと時間がわかりにくく、予定がたてにくいから
確実に参加できるので

当日だと並ぶのが大変。事前にスケジュールを組みたい。
行って参加できないと子供が残念がるので
前もって予定を立てたいので。当日来て定員オーバーは悲しいので。
当日バタバタしなくて済む
朝から並ぶのが大変
博物館に来るのが遠いため（バス）
少し距離があるため当日取れるか不安なので
予定がたてやすい
当日整理券がとれるかわからないから。大人数なら当日整理券でもいいと思います。両方できるでもいいと思います。

感想（自由記述）

火起こしの材料、火種のわたから体験することが出来て良かったです。
バックヤードツアー、火おこし、プラネタリウムを楽しませてもらいました。それぞれに発見があり楽しかったです。バックヤードツアー→プラネタリウムは、お話を聞いたあとの上映でしたので、さらに楽しかったです。
ずいぶん前だと思いますが、ラスカ等にある化石を見に行くツアーがあったと思います。身近な場所にある化石や発くつの現場などを見てみたいです。
バックヤード見学で増え続ける収蔵物への苦勞を知りました。火起こし体験楽しかったです。
クイズたのしく参加していました。いつも見ている展示もクイズにするといつもよりじっくり見っていました。
事前申込締切過ぎていたのですが、当日参加可能のものもあり、よかったです。
普段見ることの出来ない場所を見る事が出来て勉強になりました。
楽しく参加させて頂きました。機会があればまた参加したいと思います。
子供の興味に実際に体験し、付き合えるので、こういうイベントは楽しいです。
今日はフェスタとても楽しかったです。子供にもとてもいい経験になりました!!色々な体験をもっと出来たらうれしいです。（有料体験でもよい）
とても楽しかったです。特に舞台裏探検ツアーは本当にすばらしかったです。また、学芸員さんのお話をきくチャンスが増えると嬉しいです。
子どももすごく楽しんでいました。ありがとうございました。
火おこし体験とナウマンゾウペーパークラフトに参加させていただきましたが、楽しく参加できました。ありがとうございました。クイズラリーも楽しかったです。プラネタリウムもよかったです。
楽しかったです！
プラネタリウムで新たなことを学ぶことができたのでよかったです。
博物館に来るきっかけになり、とても良かったです。今後もイベント楽しみにしています。
子どもが楽しく参加できてよかった。楽しそうな表情を見て親も嬉しくなった。昔遊びでは親以外の大人と触れ合うことができ良い機会となった。博物館に行く機会（きっかけ）にもなるのでこういったイベントがあるのは嬉しいです。

●情報発信（ホームページと YouTube・SNS）

表 1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	25,341	28,945	26,819	30,766	34,800	28,219	23,259	19,940	18,065	21,994	18,155	18,921	295,223
2018	20,475	25,132	29,789	32,176	33,089	21,153	23,105	18,716	17,535	20,503	17,944	22,199	281,816
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217	33,307	26,848	28,430	25,681	30,783	352,484

※（斜線はデータ消失のため、該当データを除く 2015～20 の平均値で補完） 4月末現在

表 2 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube 視聴回数

年度	視聴数（2018年3月まで 66,450）												総視聴数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018	12,521	834	603	2,159	3,615	555	1,615	3,047	1,527	2,176	615	830	30,097
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,133	5,372	4,973	6,111	6,805	6,710	89,583

開始（2011/1/9）から 2022 年 10 月末までの累計 277,481

表 3 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数（2018年3月まで 49）												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018	6	1	4	3	4	0	1	8	2	3	1	3	36
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105	97	79	60	75	38	45	32	17	51	40	56	695

開始（2011/1/9）から 2022 年 10 月末までの累計 1,772 人

表 4 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

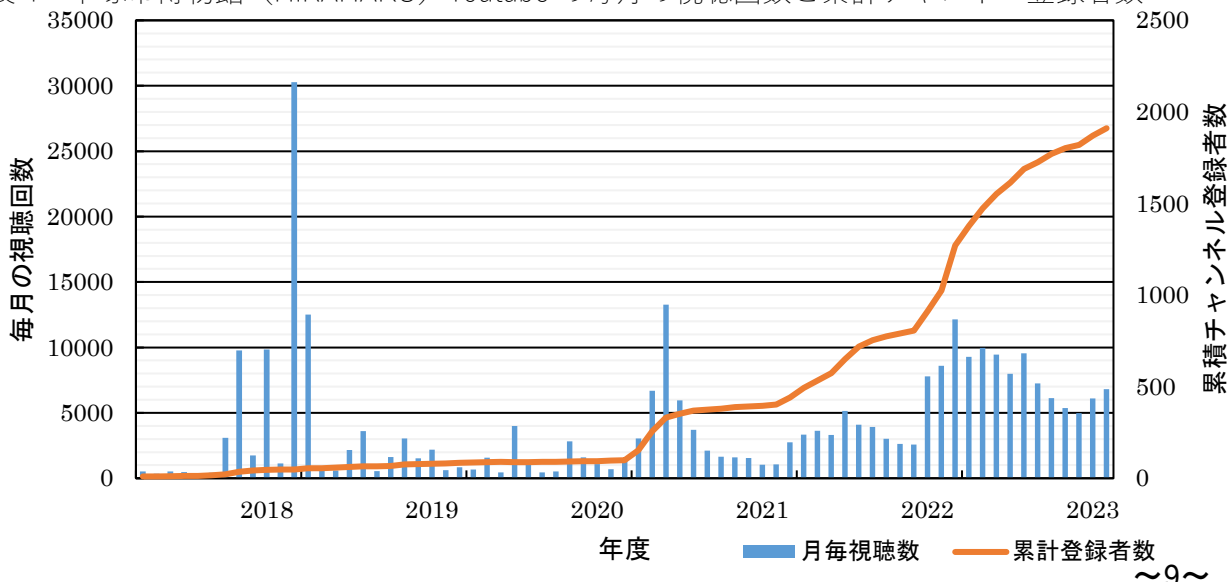
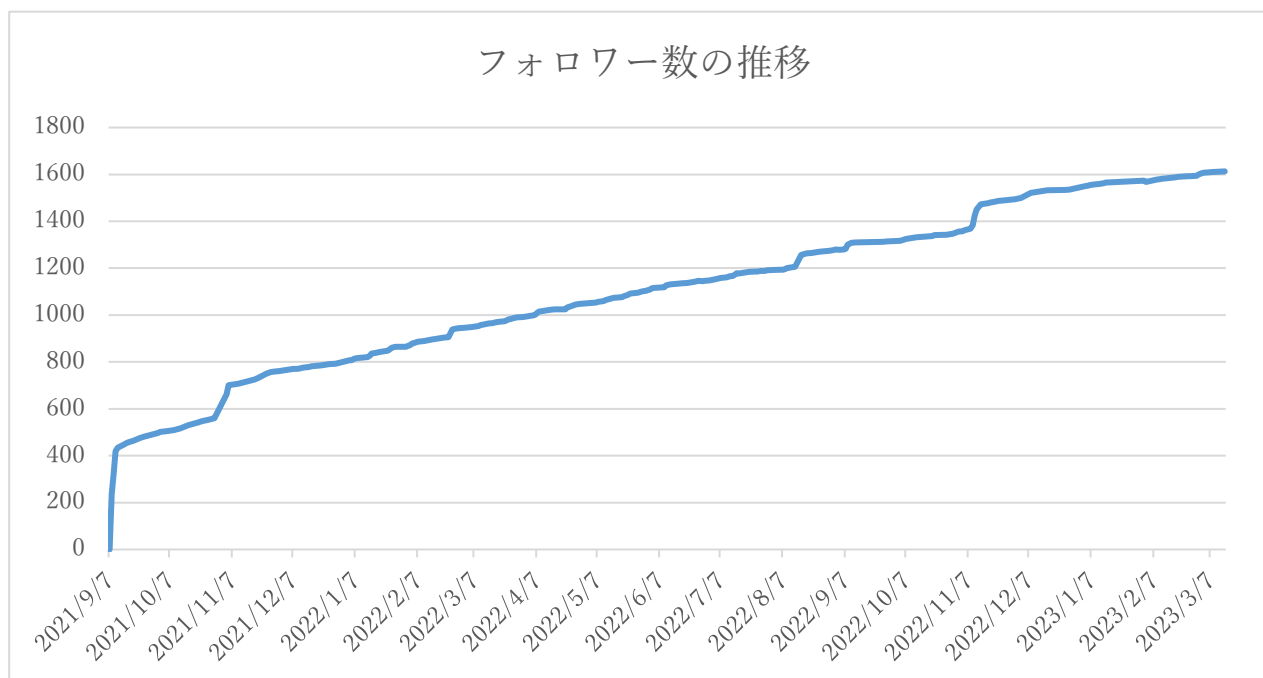


表5 「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (3/31 現在)

タイトル	公開日	再生回数	前回 順位
1 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	14,787	1
2 鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	7,193	2
3 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	5,103	5
4 おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	5,009	3
5 鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	4,530	4
6 5分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	3,684	7
7 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	3,281	8
8 5分でわかる平塚学入門「どっこい神輿と甚句」	2022/7/29	3,124	9
9 2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/25	2,984	6
10 5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/3/26	2,745	—

表6 平塚市博物館 (HIRAHAKU_) Twitter

2021/9/7 新規開設。令和4年度は690ツイート発信。フォロワー数1,638人。



平塚市 (公式) LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週1回投稿で、令和4年度は71回(3/31現在)の投稿を行った。運用開始からの総投稿数は117回。登録者数20,998人(17,072人)

『平塚市史13下』別編寺社(2)の刊行について

『平塚市史13下』別編寺社(2)を刊行したことを次のとおり報告します。

記

1.概要

平塚市制50周年記念事業として昭和57年より刊行開始
今回、15冊目の配本として、『平塚市史13下』別編寺社(2)を刊行

2.体裁

A5判 907ページ

3.部数

600部

4.納品

令和5年3月31日

5.販売

令和5年4月12日(水)より一般向け販売(価格5,000円)

平塚市博物館受付窓口と市史編さん担当窓口で販売(広報ひらつか、HP等でPR)

※市内の図書館、公民館で閲覧可。

他に郵送販売を実施

※郵送希望は、住所・氏名・電話番号・市史名を記入し、書籍代金と送料(520円)を添えて現金書留で、平塚市博物館市史編さん担当へ

6. 関連事業

『平塚市史13巻』刊行記念講演会 ～お寺と神社からみた平塚の歴史～ を開催

日時 6月25日(日)13時30分から16時40分

場所 平塚市博物館講堂

定員 50名(事前申込)

7.その他

本巻は平塚市内のうち、金目・土沢・旭に所在する寺社の由緒と地域に関わる歴史について編集したものです。

身近な寺社に関する知識の源として、あるいは寺社と地域社会の関係性を考察する基礎資料として、歴史の学習や研究にご活用ください。

展 示

夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ!～カラフルな考古資料たち～」では、色をテーマに発掘調査で発見される「モノ」が多彩な色彩に彩られていたことを紹介します。秋期特別展「天象儀(プラネタリウム)100年の軌跡」では、現行のプラネタリウムが開発されて100年となることから、その進化の歴史や天文教育に果たした役割、そして平塚市博物館の歴代投影機も紹介します。「第23回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展「(仮称)相模の古道を行く」は、歴史・考古・民俗の視点を合わせた人文分野合同の展示で紹介いたします。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展や博物館学芸員実習生による企画展などを開催します。

特別展	春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」	2023	3月 18日	～	5月 7日
	夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ!～カラフルな考古資料たち～」	2023	7月 21日	～	9月 3日
	秋期特別展「天象儀(プラネタリウム)100年の軌跡」	2023	10月 21日	～	1月 8日
	第23回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2024	2月 上旬	～	2月 中旬
	春期特別展 (仮)「相模の古道を行く」展(人文合同)	2024	3月 20日	～	5月 12日

寄贈品 コーナー	民俗 「#竹と暮らし」	2023	3月 2日	～	4月 2日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-		4月 6日	～	5月 7日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-		5月 11日	～	6月 4日
	歴史 「平塚空襲」展		6月 17日	～	7月 23日
	生物 「鳥とりどり」		7月 27日	～	8月 27日
	地質 関東大震災100年関連展示		8月 31日	～	10月 15日
	歴史 (仮)「平塚の家康伝説」		10月 19日	～	12月 10日
	民俗 (仮)「むかしの暮らし」		12月 14日	～	1月 21日
	考古 (仮)「大磯丘陵の古道」	2024	1月 25日	～	2月 25日
	天文 (仮)「流星分科会10年の歩み」		3月 1日	～	4月 7日

情報 コーナー	生物 生きもの調査から見る生物多様性(環境保全課展示)	2023	1月 14日	～	5月 14日
	考古 「平塚市指定重要文化財展」(社会教育課展示)		5月 20日	～	6月 4日
	地質 ポスト特別展「ゼロからの湘南地学入門」		6月 17日	～	9月 3日
	博物館実習展示		9月 15日	～	9月 28日
	天文 秋期特別展関連展示「日本のプラネタリウム大集合」		10月 上旬	～	終期 未定
	以下、内容未定				

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。8月は金曜日、幼児向け番組を投影します。コロナ禍以前に戻し1日2回、70名の定員で実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は市外の園・学校にも対象を拡大し、予約制で水・木・金曜日午前に実施します。

一般投影	一般向け投影 母なる星・太陽	2023	3月 4日	～	5月 7日
	一般向け投影 見たか?家康 ～家康の生涯を彩る天変		5月 13日	～	7月 16日
	一般向け投影 流星群を見よう		7月 22日	～	8月 27日
	一般向け投影 国際宇宙ステーションに潜入!		9月 2日	～	10月 29日
	一般向け投影 (仮)プラネタリウム大解剖		11月 4日	～	1月 7日
	一般向け投影 2024年の天文現象	2024	1月 13日	～	2月 25日
	一般向け投影 見えないブラックホールを見る		3月 2日	～	5月 5日
	幼児向け投影 サンとムーン		4月 8日	～	8月 26日
	幼児向け投影 2061 約束の星		9月 2日	～	3月 30日
特別投影	星空散歩 (偶数月、月初の土または日、6回)	2023	4月 2日	～	2月 4日
	「ひらはくオールスターズ」(奇数月、月初の土または日、6回)		5月 6日	～	3月 上旬
コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (雑貨団、1回)		8月 29日		
	プラネタリウム・コンサート				未定

各種普及行事

申込制 行事	考古	体験学習「昔の方法で火を起こそう」	2023 7月 30日
		体験学習「カラフルな勾玉をつくろう」	8月 13日
		考古学入門講座（3回）	10月、11月、12月の第4土曜日
	歴史	郷土史入門講座（3回）	2024 1月・2月・3月の日曜日
	民俗	石仏めぐり	2023 10月 29日
		体験学習「お飾りをつくろう」	12月 24日
		「館長の民俗学入門」講座	6月 3日 ~ 2月 25日
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」	6月 3日・11月 26日
		体験学習「化石レプリカをつくろう」（年間3回程度）	7月 27日・8月 3日
		地球科学入門講座(3回連続)	2024 1月 下旬 ~ 3月 下旬
	生物	自然教室（7回）	2023 4月 15日 ~ 3月 9日
	天文	星を見る会（10回）	4月 28日 ~ 1月 18日
		天文学入門講座「電磁波と天文学」(6回)	4月 22日 ~ 9月 30日
		最新天文学講座（3回程度）	5月 14日 ~
		ピンホールカメラを作ろう	日程 調整中
		不思議な板で万華鏡を作ろう（当日整理券）	7月 25日
		プラネタリウムを操作してみよう	7月 28月・8月 1日
		体験学習「色の不思議を探れ！」	8月 4日
		体験学習「体験！宇宙飛行士選抜試験」	8月 15日
		水ロケットを作ろう	秋予定
プラネタリウムを作ろう		日程 調整中	
総合	こどもフェスタ	4月 29日・30日	
	平塚学講座	秋	
自由参加	民俗	ろばたばなし	月1回 日曜日
		学芸員が語る「相模の家のくらし」	ろばたばなしと同日
		鳥のおめんを作ろう	8月 5日
会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ（野外6回、室内5回）	毎月1回_土or日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1~2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	毎月1・3木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2023 6月 6日 ~ 6月 16日
博物館実習	2023 9月 6日 ~ 9月 14日

*新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。